

INFO-HIRO-21

第467号 2019年2月15日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

大連理工大学（中国）教員交流プログラム招へい教員による学術講演会のお知らせ

このたび、本学の海外協定校である大連理工大学（中国）から梁剛涛先生と李林先生をお招きして、下記のとおり学術講演会を開催いたします。

どなたでも参加できますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

【日時】 平成31年2月19日（火） 14:00～16:00

【場所】 弘前大学理工学部 1号館3階 第6講義室

【講師・演題】

○大連理工大学能源与動力学院 助教 梁 剛涛 先生

「Interfacial Phenomena and Heat Transfer Associated with Multi-Droplet Impingement」

○大連理工大学能源与動力学院 助教 李 林 先生

「Photocatalytic fuel cell using solar responsive anode and air-breathing cathode for wastewater treatment and simultaneous electricity production」

【対象】 学生・教職員、どなたでも参加できます。

【申込】 事前申込みは不要です。

※講演はすべて英語で行われます。

【問い合わせ先】 弘前大学国際連携本部

TEL : 0172-39-3114 E-mail : jm3114@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度情報処理学会東北支部研究会(弘前大学)

日時：2019年2月21日（木）9:15～17:35

会場：〒036-8560 青森県弘前市文京町1弘前大学総合教育棟の3階309講義室

・主催：情報処理学会東北支部、・共催：弘前大学理工学部電子情報工学科

2018年度 教員交流プログラム 招へい教員

大連理工大学 学術講演会

日時：2019年 2月19日(火) 14:00～16:00
場所：弘前大学理工学部 1号館3階 第6講義室

Interfacial Phenomena and Heat Transfer Associated with Multi-Droplet Impingement

As a common phenomenon widely witnessed in nature, droplet impact has attracted much more attention because of its experimental mechanism associated with essential outcomes after impact. The multiple droplet impact on ground, leaf, rock, lake surface and wings of animal, and droplet impingement, as well as air-liquid and liquid-liquid interface, is significant in industrial applications, such as spray coating, biomedical device fabrication, material processing, surface modification, solar power, and fire extinguishing. In particular, when liquid film will be broken by the liquid droplet impact on a heated solid wall, which suggests that the subsequent impingement will cause a high temperature rise on the solid wall. In practice, such an impingement is frequently observed in various industries related to process distribution, which was developed by Dr. Liang's research group recently. This session covers both theoretical phenomena and experimental processes about multi-droplet impact on a liquid film with an emphasis of multi-droplet impact instead of single-droplet. Series of which is featured as a special case.

The speaker will introduce a three-dimensional numerical model with an emphasis of a random disturbance subjected to Gaussian distribution, which was developed by Dr. Liang's research group recently. This session covers both theoretical phenomena and experimental processes about multi-droplet impact on a liquid film with an emphasis of multi-droplet impact instead of single-droplet impact and the above practical applications.

大連理工大学 能源与動力学院 助教 梁 剛涛 先生

Photocatalytic fuel cell using solar responsive anode and air-breathing cathode for wastewater treatment and simultaneous electricity production

With the rapid development of the society, the energy crisis due to fast depletion of fossil fuel and environmental pollution have become one critical problem facing our planet. Therefore, seeking a clean energy and developing an effective technology to convert the energy stored in wastewater become significant to improve the photocatalytic fuel cell (PFC), which is an integration of photocatalysis and fuel cell technologies, has become a hot technology one increasingly regards the response and generation of electricity. In PFC, the simultaneous photocatalytic reaction process occurs over the conventional fuel cells, various flame gases and reflective molecules, some types of organic wastes can be oxidized in PFC, which overcome the fuel inhibition on conventional fuel cells. Oxygen ions transport, light transmission and migration of the electrolyte ions coupled with photocatalytic reaction occur in PFC. The novel design, which thereby affect the performance of PFC, the photocatalytic anode and the cathode will introduce a novel PFC with an air-breathing cathode and a solar responsive anode, which could advance energy transport and improve the light utilization efficiency. The mass transport and electricity generation performance was investigated.

大連理工大学 能源与動力学院 助教 李 林 先生

● 学生、教職員、どなたでも参加できます。 ● 講演はすべて英語で行われます。

弘前大学国際連携本部
TEL 0172-39-3114
E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp

参加費： 無料

対 象： 学生， 本学教職員， 一般の方等どなたでも

【Program】

セッションA1 (9:15-10:00) 座長： 岡崎功 (弘前大学)

A1-1. スマートフォン用白神レーダー画像公開システムの開発
○蝦名祥， 丹波 澄雄 (弘前大学)

A1-2. IoTを用いたさくらまつり駐車情報収集・公開システムの自動化
○渡辺 あさひ， 丹波 澄雄 (弘前大学)

A1-3. 可視近赤外カメラによる玄米タンパク質含有率の推定
○中屋 聡太， 木村 錦昭， 姜東 鎮， 丹波 澄雄 (弘前大学)

セッションA2 (10:10-11:10) 座長： 銭谷勉 (弘前大学)

A2-1. 夜間のhimawari-8号AHI画像データの幾何学補正精度の改善方法
高田 将司， ○丹波 澄雄 (弘前大学)

A2-2. GISデータに基づいた青森県リンゴ園地の特徴抽出
長谷川 将士， ○丹波 澄雄 (弘前大学)

A2-3. 車載画像処理における3Dマップデータの活用に関する研究
○高崎 亮， 小野口 一則 (弘前大学)

A2-4. 車載単眼カメラを用いた道路境界検出に関する研究
○伍楼 一輝， 小野口 一則 (弘前大学)

セッションA3 (11:20-12:05) 座長： 一條健司 (弘前大学)

A3-1. 証明書管理ノード方式におけるクラスタリングの実装に向けた研究
○野田 睦樹， 長瀬 智行 (弘前大学)

A3-2. ハードウェアセキュリティ装置に関する研究領域の予測
○谷地 哲夫， 長瀬 智行 (弘前大学)

A3-3. Signal Processing Based on Metamaterials
○Yang Peng, Tomoyuki Nagase (Hiroasaki University)

セッションB1 (13:05-13:50) 座長： 成田明子 (弘前大学)

B1-1. 多特徴を用いたTwitter上のネットいじめの自動検出
○大友 泰賀， 張 建偉 (岩手大学理工学部)

B1-2.
ブートストラップ手法に基づくTwitter上のいじめ文の収集といじめ単語の抽出
○橋向 慎， 張 建偉 (岩手大学理工学部)

B1-3.
ロバスト性の向上に向けた複数回クラスタリングによる協調フィルタリング手法の提案
○平野 瑞己， 張 建偉 (岩手大学理工学部)

セッションB2 (14:00-15:15) 座長： 丹波澄雄 (弘前大学)

B2-1. FMラジオ放送波の電離層散乱による大規模地震前兆現象の観測
○岡 芳雄 (弘前大学名誉教授)

一般社団法人
情報処理学会
Information Processing Society of Japan
TOHOKU
HIROSAKI
弘前

平成30年度情報処理学会
東北支部研究会(弘前大学)

日時: 2019年2月21日(木)
9:15~17:35

会場: 〒036-8560 青森県弘前市文京町1
弘前大学総合教育棟の3階
309講義室

・主催: 情報処理学会東北支部
・共催: 弘前大学理工学部電子情報工学科

参加費: 無料
対象: 学生、本学教職員、一般の方等
どなたでも

問い合わせ:
氏名 野田 睦樹
〒036-8561 青森県弘前市文京町3, 弘前大学理工学部電子情報工学科
電話番号 0172-39-3632, FAX番号 0172-39-3632
E-mail: ipstj@hiroaki.hiroasaki-u.ac.jp

- B2-2. 極端降水解析のための日降水量グリッドデータAPHRODITEの改良
○谷田貝 亜紀代, 前田 未央, 増田 南波, 末藤 菜保, (弘前大学)
安富 奈津子 (京大防災研), Sunil Khadgarai (無所属)
- B2-3. APHRODITEデータのDB化による品質管理およびweb上でのデータ公開について
谷田貝 亜紀代, 今井 雅, ○前田 未央, 石田 祐宣 (弘前大学)
- B2-4. イネ紋枯病発生予察システム (BLIGHTAS) を用いた病害発生リスク分析
○高村 竜 (岩手県立大学 ソフトウェア情報学部), 南野謙一 (岩手県立大学 ソフトウェア情報学部), 小林 隆 (山形大学 農学部), 宮野 法近 (宮城県古川農業試験場), 後藤 裕介 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部), 渡邊 慶和 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部)
- B2-5. 地震学研究グループ修士学生の研究紹介
○雨澤勇太, 石田早祐美, 須藤侑弥, 春山太一, 小菅正裕, 前田拓人 (弘前大学)

セッションB3 (15:25-16:25) 座長: 種田晃人 (弘前大学)

- B3-1. ゲノム配列のグラフ表示とデータベースの作成
○木村 元, 大槻 郁弥, 葛西 直人, 水田 智史 (弘前大学)
- B3-2. 周期性解析に基づいた機械学習による符号化領域の予測
○成兼 滉平, 水田 智史 (弘前大学)
- B3-3. 楕円曲線デジタル署名のToyモデル
○坂本 航平 (弘前大学)
- B3-4. 強正則グラフに関するHoffman限界式
○清松 雅斗 (弘前大学)

セッションB4 (16:35-17:35) 座長: 長瀬 智行 (弘前大学)

- B4-1.
遅延ばらつきを考慮した遅延線設計による東データ方式非同期式回路の高性能化
○赤坂 親一郎, 金本 俊幾, 黒川 敦, 今井 雅 (弘前大学)
- B4-2. ハードウェアトロイ無効化のための多重化システムの実装
○和島 純也, 金本 俊幾, 黒川 敦, 今井 雅 (弘前大学)
- B4-3. 東データ方式非同期式回路におけるハードウェアトロイ検出手法の評価
○稲葉 光太郎, 金本 俊幾, 黒川 敦, 今井 雅 (弘前大学)
- B4-4. AC解析を用いたオンチップ電源分配網の容量抽出手法
○葛西 孝己, 黒川 敦, 今井 雅, 金本 俊幾

問合せ先:

長瀬 智行

〒036-8561 青森県 弘前 市文京町3, 弘前大学理 工学部電子情報工学科

電話番号0172-39-3632, FAX番号 0172-39-3632

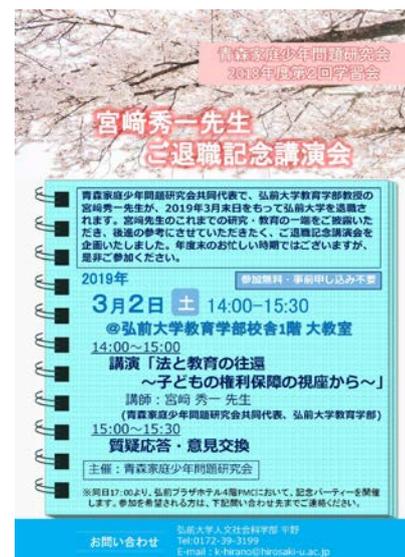
E-mail:ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp

青森家庭少年問題研究会2018年度第2回学習会「宮崎先生ご退職記念講演会」

青森家庭少年問題研究会共同代表で、弘前大学教育学部教授の宮崎秀一先生が、2019年3月末日をもって弘前大学を退職されます。宮崎先生のこれまでの研究・教育の一端をご披露いただき、後進の参考にさせていただきたく、ご退職記念講演会を企画いたしました。年度末のお忙しい時期ではございますが、是非ご参加ください。

1. 日 時 : 2019年3月2日(土) 14:00~15:30
2. 場 所 : 弘前大学教育学部校舎1階 大教室
3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも (参加無料)
※事前申し込みは不要です。
4. 内 容 :
14:00~15:00
講演「法と教育の往還～子どもの権利保障の視座から～」
講師: 宮崎 秀一 先生 (青森家庭少年問題研究会共同代表, 弘前大学教育学部)
15:00~15:30
質疑応答・意見交換
5. 主 催 : 青森家庭少年問題研究会
6. その他:
同日17:00より、弘前プラザホテル4階PMCにおいて、記念パーティーを開催します。参加を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
電 話 : 0172-39-3199
E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学大学院理工学研究科最終講義のお知らせ

理工学研究科では、本年度をもって退職される機械科学科 稲村 隆夫 教授の最終講義を下記により行いますので、ご案内申し上げます。

日時: 平成31年3月2日(土) 13:30~14:30

場所: 理工学部1号館4階 第8講義室

演題: 空に憧れてー噴霧と向き合って四十四年間ー

【問合せ先】

理工学部機械科学科 杉本尚子
Tel:0172-39-3684 E-mail:suginao@hirosaki-u.ac.jp

ちしております。

- 【日 時】 平成31年2月21日（木） 15:00～17:30
【会 場】 保健学研究科 第33講義室（弘前市本町66-1）
【対 象】 興味・関心のある方，どなたでも参加可能 ※無料
【プログラム】 ※発表等はすべて英語で行います

時 間	内 容
15:00～	Seminar start Opening remarks
15:10～	Lecture 1 : Lynda A. Mackin先生, PhD, AG PCNP-BC, CCNS (UCSF School of Nursing) 「Clinical Nurse Specialist Education, Competency and Credentialing in the United States : Assuring sustainability of the advanced practice nursing role」
16:20～	Lecture 2 : 頼甫誌 (Fu-Chih Lai) 先生, RN, Ph.D. (Taipei Medical University College of Nursing) 「The Use of Block Chain for the Prevention, Response, and Recovery of Radiation Disaster in Eastern Asia: Reflections from Japan to Taiwan」
17:30	Seminar close Closing remarks

- 【お問い合わせ】 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村・桑田）
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
TEL: : 0172-39-5518 E-mail : hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

「第3回ノートテイク講習会」開催のお知らせ（再掲）

学生特別支援室では，下記のとおり第3回ノートテイク講習会を開催します。ノートテイクとは，聴覚に障害のある学生の耳の代わりとなり，先生の声やチャイムの音，笑い声など講義中の音の情報を文字にして伝える支援技術です。

本講習会は，ノートテイクの基本的技術の習得を目的としており，聴覚障害の疑似体験をとおり障害を理解することから始まり，実際にノートテイクを実践するまでの初心者向けプログラムです。

興味のある学生，教職員の方のご参加をお待ちしています。

記

【日 時】 平成31年2月28日（木） 13:00～16:00

【場 所】 弘前大学 総合教育棟2階 206講義室

【講 師】 みやぎDSC代表 松崎 丈 氏（宮城教育大学准教授） 他2名

【対 象】 本学の学生および教職員

【参加料】 無料

【申込み】所属，学籍番号，氏名を明記の上，2月25日（月）までに
下記アドレスへメールでお申し込みください。

【担当】弘前大学学生特別支援室

TEL：0172-39-3266（内線）3266

E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度第2回 知財塾開催のお知らせ（再掲）

この度，研究・イノベーション推進機構では，教育・研究活動によって得られた知的財産の保護及び有効な活用により，社会の持続的発展に貢献することを目的に知財塾を開催します。第2回は，国内大手製薬メーカーの一つである第一三共株式会社様から講師をお招きし，オープンイノベーション時代において製薬企業がアカデミアに期待することについてご講演いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 場 所：健康未来イノベーションセンター
（弘前大学本町キャンパス）
2. 日 時：平成31年3月11日（月）18：00～20：00
3. 内 容：
「製薬企業のオープンイノベーションの取り組み」
第一三共株式会社 研究開発本部 オンコロジー統括部 バイオ・癌免疫ラボラトリー
主査 藤澤 道雄 氏
4. 対 象：教職員，学生，大学院生，一般企業等
5. 定 員：30名程度
6. 参加料：無料

※参加を希望される方は，氏名，所属・役職，連絡先を記載し，2月25日（金）までに，下記連絡先までお申し込みください。

参加申込み先：弘前大学 研究・イノベーション推進機構 知的資産部門（担当：篠村）

TEL：0172-39-3911 FAX：0172-39-3919

E-mail：chizai@hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は，障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ，よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび，教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している，支援室スタッフに尋ねたいことがある，あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

開 催 日： H31年 2月21日（木）

時 間： 14：30～15：30（時間内は出入り自由です。）

場 所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員

参加スタッフ： 室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先： 弘前大学学生特別支援室

T E L : 0172-39-3266 (内線3266) E-mail : g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来，平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して，国際化や男女共同参画の推進，学生支援の充実など，主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては，多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが，創立70周年記念事業を成功させるため，更なるご支援を賜りますよう，何卒よろしくお願い申し上げます。

なお，創立70周年記念事業のホームページでは，クレジットカードによる寄附も可能でございますので，ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では，各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では，「発見！国立大学」において，弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第51号」

<http://www.janu.jp/report/koho/51gou.html>

下記URLより最新号を含め，今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/>

その他，第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において，本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029